企画・制作=日本経済新聞社クロスメディア営業局

広　告

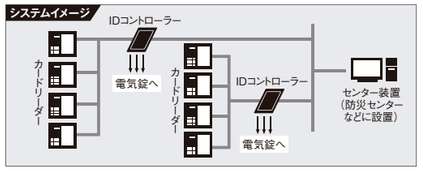
運用規模に合わせたメニュー セントリックスラインアップ

入退室管理システム「セントリックス」は、導入規模や運用面のニーズに合わせ、セキュリティーゲート数、管理方法をセレクトできる。

大規模オフィス向け　centrics EXⅡ

最大対応可能カード枚数30,000枚、カードリーダー最大接続可能台数が1,000台以上と、従業員数の多いオフィスや大規模ビルのエントランスにも対応。社員ごとの入室制限や入室時間などは、専用パソコン（センター装置）で管理するため、詳細な設定が可能だ

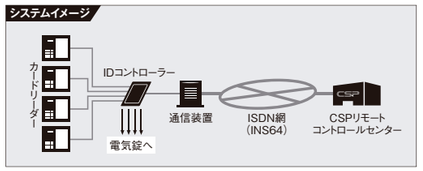
システムイメージ



遠隔管理サービスを提供　centrics RMⅡ

カードリーダー64台、登録枚数10,000枚。専用のISDN回線を利用し、セントラル警備保障が用意する監視センターでリモート管理を行うため、管理人が常駐しないオフィスビルや専任のIT部門を持たない企業などでも、スムーズに導入ができる。

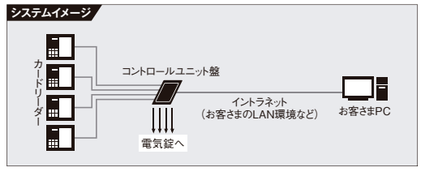
システムイメージ



自社で柔軟に管理可能　centrics SE

カードリーダーコントロールユニットをイントラネットに接続することで、企業内のパソコンでの管理が可能。例えば総務部門、人事部門などの内部の社員でも、容易にカード登録や抹消ができる（アクセス権限が必要）。カードリーダー128台、登録枚数5,000枚に対応。

システムイメージ



創業以来、警備サービスのプロとして、安心・安全に貢献してきたセントラル警備保障。セキュリティー意識の高まるなか、多くの人が持ち歩く交通系ICカードを活用し、注目を集める同社の入退室管理システムには、どんなメリットがあるのか。独自の発想が生み出した利便性と運用効率を探った。

セントラル警備保障
事業戦略推進本部
鉄道営業推進部長
三谷 武士氏

セントラル警備保障
執行役員 営業本部 副本部長
兼 システムソリューション営業部長
渋谷 元和氏

汎用のカードで、確実なセキュリティーと利便性向上を

利便性向上を視野に顧客ニーズの変化に対応

盗難や事故、災害対策から情報セキュリティー実現まで、多様で複雑な危機管理が求められる現在、オフィスビルなどの施設の入退室管理は、資産価値向上を目指すビルオーナーのみならず、テナントとして利用する企業にとっても、必須の取り組みだ。そんな入退室管理システムに交通系ICカードを活用することで、運用の効率化と利便性向上を実現したのが、セントラル警備保障が提供する「セントリックス」だ。

同社が、交通系ICカードによる入退室管理システムの開発に着手したのは2002年。「入的な警備や監視カメラなどの機械警備から、IT（情報技術）を活用したシステム的な警備へとお客さまのニーズが変わってきたのが背景です」と、同社執行役員営業本部副本部長兼システムソリューション営業部長渋谷元和氏が言うように、03年には個人情報保護法が成立するなど、情報セキュリティーに対する企業の意識も高まりつつあった。

JR東日本とともに開発し業務を展開してきた同社にとって、01年にサービスが開始されたSuicaは新たなサービスのキーテクノロジーになった。「Suicaを利用することで、通勤からオフィスへの入退出、買い物まで、1枚のカードを持てばいい。これは、ユーザーの利便性向上に寄与すると確信しました」（渋谷氏）。

警備計画全体を提案

事業戦略推進本部鉄道営業推進部長三谷武士氏によると「システムの機能は、市場に展開されている入退室管理システムと同等」とのこと。ただし、セントリックスは、交通系ICカードが利用できることが最大のメリットであり、紛失時の再発行は交通機関で可能。新しいカードに引き継がれた情報にも、カードリーダーが自動的に対応するため、再登録は不要だ。「手入力でデータの抹消や登録を行う通常のICカードに比べ、運用負荷は飛躍的に軽減されます。旧カードは自動的に利用できなくなりますから、紛失時のリスクも少なくなるはずです」（三谷氏）。

セントリックスは、現在、相互利用が可能な交通系ICカード10種のすべてに対応している。拠点が全国に点在する企業であれば、一元的な管理も可能だ。また、カードを自社で用意する必要がないため、パートやアルバイトなどの人材にも柔軟に対応できる。「ビルでシステムを保有する大規模向けから、自社のパソコンで管理できるタイプまで、ニーズに合わせて用意しています。当社監視センターによる遠隔管理も可能です」（三谷氏）。

リスクが多様化し、複雑化するなか、セキュリティーへの意識は、さらに高まりつつある。渋谷氏が「警備計画全般を提案できるのが、当社の最大の強み」というように、入退室管理を中心としたトータルセキュリティーの実現は、ビルオーナーや企業にとって、大きな安心感につながるはずだ。

ICカードリーダー

オフィスの入口

交通系ICカードとして、全国相互利用が可能。紛失時の再発行も交通機関で行える。

買い物

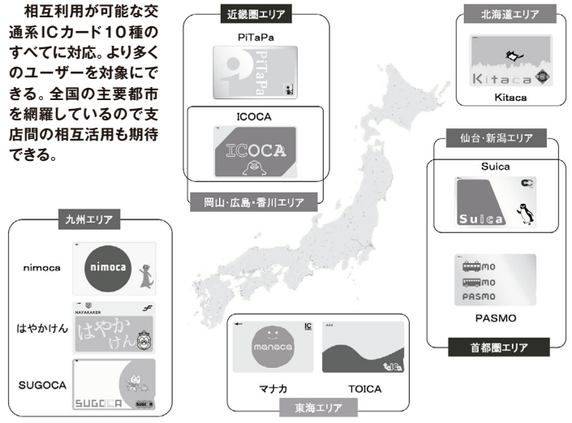
電子マネー機能でショッピングも、もちろん影響なく利用できる。プライベートの利便性向上を支援。

駅の改札

駅の改札や買い物で利用できる交通系ICカードをそのまま利用でき、より高度なセキュリティーを実現。

使用可能な交通系ICカード

相互利用が可能な交通系ICカード10種のすべてに対応。より多くのユーザーを対象にできる。全国の主要都市を網羅しているので支店間の相互活用も期待できる。



●「Suica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。　●「PASMO」は株式会社パスモの登録商標です。　●「ICOCA」は西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。　●「nimoca」は西日本鉄道株式会社の登録商標です。　●「PiTaPa」は株式会社スルッとKANSAIの登録商標です。
●「TOICA」は東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。　●「はやかけん」は福岡市交通局の登録商標です。　●「マナカ」は株式会社名古屋交通開発機構の登録商標です。　●「Kitaca」は北海道旅客鉄道株式会社の登録商標です。　●「SUGOCA」は九州旅客鉄道株式会社の登録商標です。